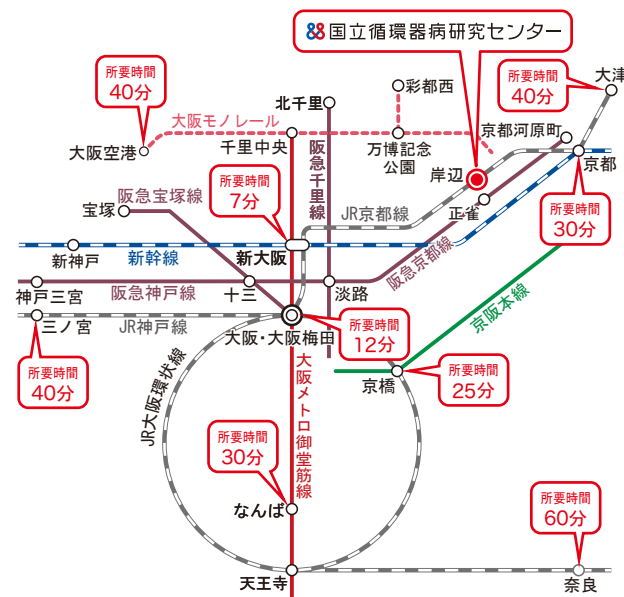




鉄道利用の場合

- JR大阪駅・新大阪駅・京都駅からお越しの方
JR京都線「岸辺」駅下車、改札口より徒歩約1分
- 阪急神戸三宮駅・京都河原町駅方面からお越しの方
阪急京都線「正雀」駅下車、西口より徒歩約8分



自動車利用の場合

- 名神高速道路「吹田IC」より約6km
 - 中国自動車道「中国吹田IC」より約6km
 - 近畿自動車道「摂津北IC」より約4km
- ※できる限り公共交通機関等をご利用ください。



〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号
TEL 0570-012-545
<http://www.ncvc.go.jp>

循環器ドック[日帰り]のご案内
Comprehensive cardiovascular examination

「循環器」を対象とする 唯一の国立高度専門医療研究センターです。

脳MRI/心臓MRI/胸部単純CT(冠動脈・大動脈)/心臓超音波検査。

循環器ドック[日帰り]では、低線量CTで被ばく低減と時間短縮を行い、
冠動脈硬化、胸部大動脈拡張を診断、頭部についてはMRI、MRAを行います。
また、日本では国循と筑波大学しか導入されていない心磁図検査を実施しており、
不整脈を中心とした心臓病の診断が可能となります。
一般的な心電図では難しい不整脈の程度や発生場所を特定でき、
より正確な治療を受けることが期待できます。

日帰りドックの流れと検査項目

↑ 絶食・飲水可 ↓	前日23時以降絶食	
	11:20 来院・受付	
		ロッカーへ案内・更衣
	11:30 バイオバンクIC→身体測定・血圧・InBody	
	11:50 採血・採尿	
	12:10 食事・休憩	
	13:30 診察	
	14:00 頭部MRI・MRA検査(3テスラ)・胸部単純CT検査(冠動脈・大動脈)	
	15:00 生理機能検査(ABI/CAVI)	
	頸動脈/心臓/腹部大動脈エコー検査	※胸部単純CT検査は、放射線の被ばくがあります。このドックでの被ばくは全部で1.5mSv程度で、CT検査を行う通常の人間ドックとほぼ同程度であり、健康被害の心配は全くありません。
	生理機能検査(心電図)	※スケジュールについては、変動する場合があります。
	16:00 心磁図検査	※専任のコンシェルジュが対応いたします。
	16:20 更衣・結果説明の受診・チェックアウト	※女性の方で女性スタッフをご希望の方は、お申し込みの際にご相談ください。
	16:50 帰宅	

【検査費用】

22万円(税込、クレジットカード利用可)

【受診日】

お申し込み(申込書提出)から、4週間後以降でお受けいたします。

【お問い合わせ・お申し込みについて】

国立循環器病研究センター内 医事室(ドック担当)

TEL 06-6170-1282(平日 9:00~16:00)

心磁図検査



国内では2カ所で行なうことができない「心磁図検査」

心磁図検査は、心臓から発生する微弱な磁場の変動をからだの近くのセンサーで記録し、心臓の電気活動として画像に表示する画期的な検査です。この検査では、以下のようなことが判ります。

1. 不整脈を中心とした心臓の病気の診断
2. 不整脈の発生場所や重症度
3. 心臓の電気の伝わり方が衰えた際におこる伝導障害
4. 狭心症や心筋梗塞など

※心臓ペースメーカーや除細動器などの金属が埋め込まれている方は、行うことができません。

胸部単純CT検査(冠動脈・大動脈)

冠動脈の動脈硬化病変は不安定狭心症や急性心筋梗塞などの原因となり、その進行は心血管リスクを増加させます。そのため冠動脈硬化を診断することは重要です。低線量撮影で放射線被ばくを低減し、かつ造影剤を使わず、冠動脈硬化について診断を行います。また胸部大動脈の拡張を同時に診断し胸部大動脈瘤の有無を診断します。

頭部および頭部MRI・MRA検査

強い磁石と電磁波を利用して行う検査で、放射線被ばくや造影剤注射がなく、詳しく病気を調べることができます。脳ドックなどでMRAが行われるようになり、偶然、脳動脈瘤や動脈が詰まっていることが判るケースも増えています。

頸動脈では、脳梗塞の原因となる危険な動脈硬化プラークを調べる方法の1つとして注目されています。

※心臓ペースメーカーや除細動器が埋め込まれている方、狭いところが苦手な方は、行うことができません。

動脈硬化度(ABI)検査

この検査では、上腕と足に血圧測定用のマンシェットをまき、上腕と足の血圧を同時に測定します。足のほうが上腕より少し血圧が高いのが通常です。

ABI(Ankle-Brachial pressure Indexの略)は、足の収縮期血圧を上腕の収縮期血圧で割った値で、この値が低い場合、足の動脈の一部分が狭くなっている可能性が高いことを示します。ABIが1.0以上の場合は正常ですが、0.9以下であれば、足の動脈に病変があると断定できます。この数値が低いほど重症です。ただし、糖尿病や慢性腎不全(特に透析治療中の場合)では、ABIが1.0以上であっても必ずしも正常だとはいえませんので、注意を要します。

頸動脈超音波検査

頸動脈は手で首を触るとすぐ判るように、体の浅いところにあり、超音波で一番見やすい血管です。頸動脈は動脈硬化が起りやすい場所であり、この検査により血管の壁の厚さと血管の中を詳しく診ることができると、ごく初期の動脈硬化をとらえることができます。頸動脈を調べることにより、脳卒中になりやすいだけでなく、心筋梗塞や狭心症のような他の動脈硬化による病気になりやすいかも判ります。

心臓超音波検査

心臓は4つの部屋と、4つの弁と呼ばれるものからできています。この検査では、これらの部屋の大きさや働き、また弁の動きなどを診ることで、色々な心臓病の診断ができ、治療方法の選択や効果の判定にも役立ちます。

腹部大動脈超音波検査

正常径の2倍以上拡大を呈したものを腹部大動脈瘤といいます。45・50mm径に達した腹部大動脈瘤は破裂による突然死のリスクを伴います。放射線被ばくのない腹部超音波にて腹部大動脈の有無について診断を行います。